

平成29年第2回定例会（9月議会） 産業観光委員会・分科会 提出資料

平成29年9月20日
産業労働部

【議案（認定）関連】

公 営 企 業 課 平成28事業年度秋田県公営企業会計

決算説明資料 …… 別冊

平成28年度未処分利益剰余金の処分について …… 1

平成28年度未処分利益剰余金の処分について

公 営 企 業 課

経営活動により得られた当年度未処分利益剰余金は、将来に予定されている発電事業等の建設改良資金や企業債償還資金等の一部として積み立てることなどにより、公営企業の健全な運営を行うために必要な内部留保資金として、確保することが必要である。

このため、平成28年度の未処分利益剰余金を次のとおり処分する。

1 電気事業会計

- ① 積立金の取崩相当額を資本金に組み入れる。
- ② 平成29年度に償還予定の企業債元金相当額を減債積立金に積み立てる。
- ③ 建設計画のある発電所建設に備え、所要額を中小水力発電開発改良積立金に積み立てる。
- ④ 継続費を設定し平成29年度に繰り越した修繕費等の財源に充てるため、その相当額を繰越利益剰余金とする。

未処分利益剰余金	1,212,327,615円	備 考
①組入資本金組入額	391,188,787円	減債積立金取崩額 349,158,570円 地域振興積立金取崩額 4,474,000円 中小水力発電開発改良積立金取崩額 37,556,217円
②減債積立金積立額	317,792,302円	平成29年度企業債償還金 317,792,302円
③中小水力発電開発改良積立金積立額	213,749,406円	未処分利益剰余金－(①＋②＋④)
処分後残高	289,597,120円	④ 繰越利益剰余金として繰り越し

2 工業用水道事業会計

- ① 積立金の取崩相当額を資本金に組み入れる。
- ② 平成29年度に償還予定の企業債元金相当額を減債積立金に積み立てる。
- ③ ①、②の残額は、取水口切替に伴う既存取水口の撤去により、今後発生が見込まれる除却費に備え、繰越利益剰余金とする。

未処分利益剰余金	438,941,476円	備 考
①組入資本金組入額	112,409,861円	減債積立金取崩額 112,409,861円
②減債積立金積立額	120,039,709円	平成29年度企業債償還金 120,039,709円
処分後残高	206,491,906円	未処分利益剰余金－(①＋②) (③ 繰越利益剰余金として繰り越し)